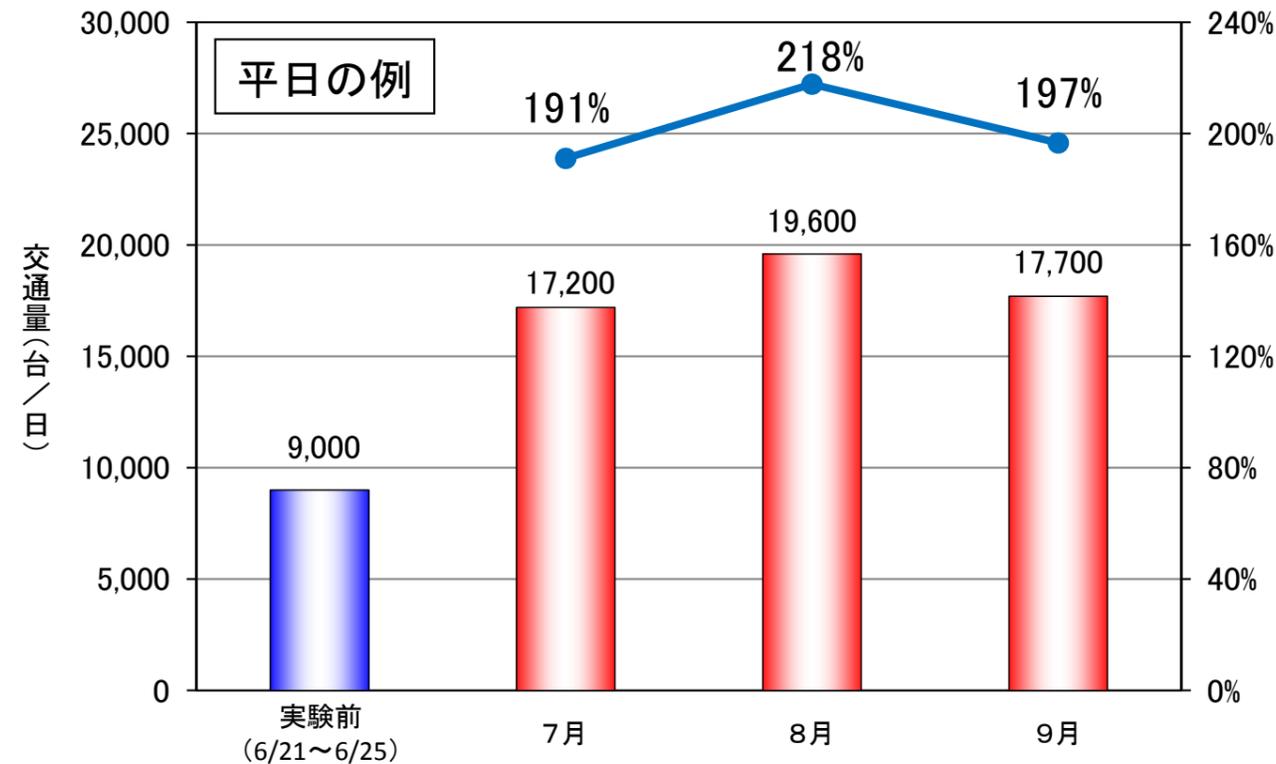


### 高速道路(実験区間)

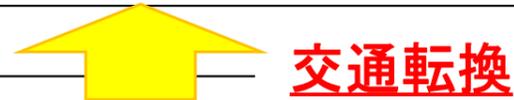
○ 開始後3ヵ月間を通じて、平日・休日ともに平均で約2倍に増加



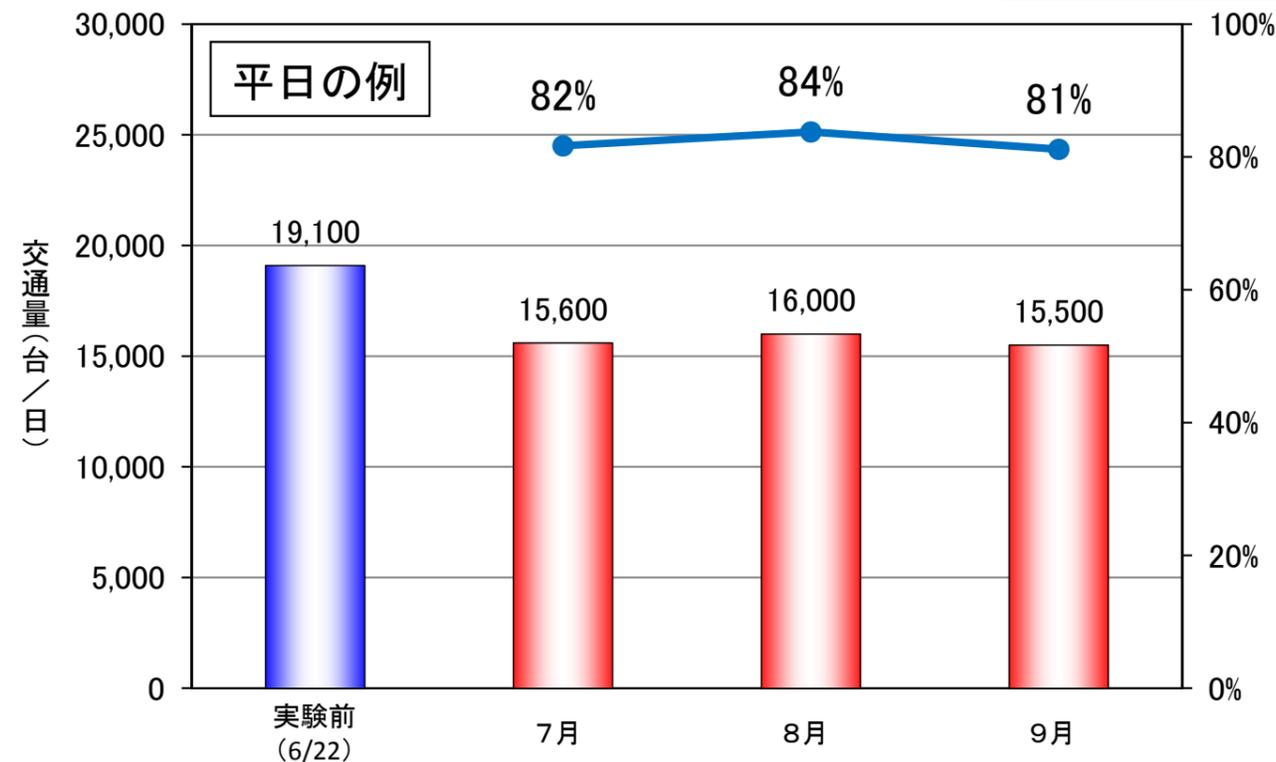
#### [渋滞状況]

- 実験区間の渋滞状況については、50区間のうち、平日は約1割、休日は約2割の区間で渋滞が発生
- 渋滞の要因は実験区間端末の一般道路との合流部が約半数  
高速道路本線ではサグ、トンネルなどのボトルネックで発生

### 並行する一般道路



○ 開始後3ヵ月間を通じて、平日・休日ともに平均で約2割減少



#### [渋滞状況]

- 主要な並行一般道路では  
混雑時間が約6割減少し、大幅に速度が向上

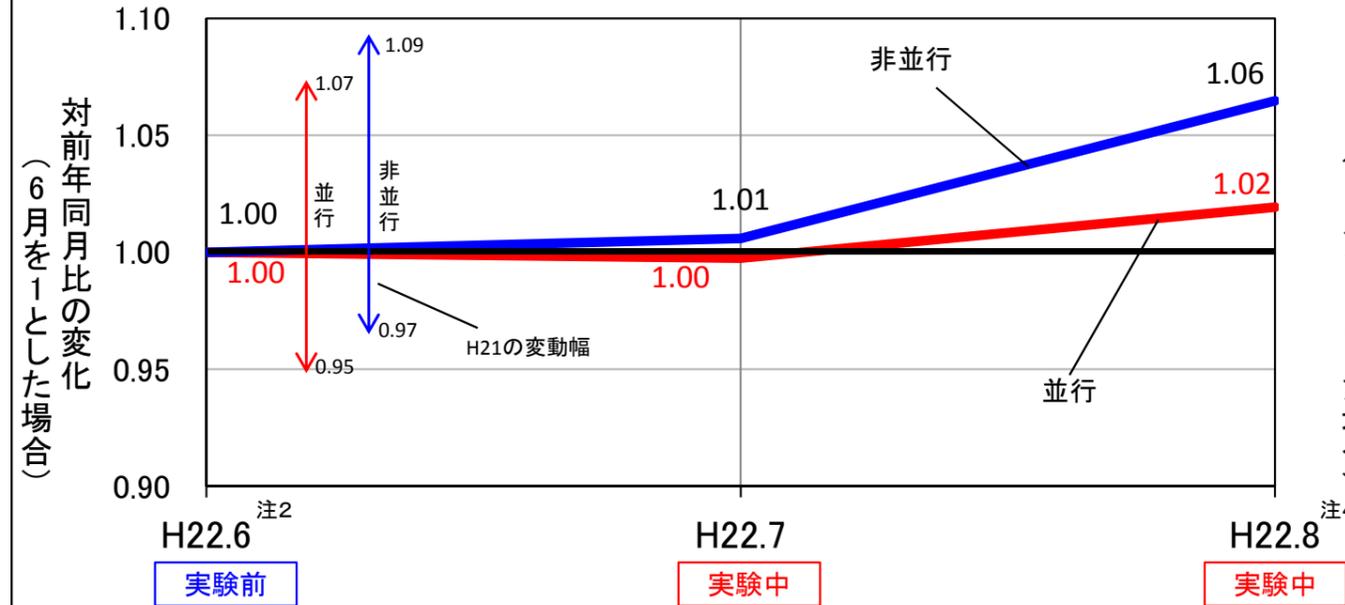
【事例】 京都丹波道路に並行する国道9号  
 亀岡市内の主要な渋滞箇所（国道9号）では渋滞が解消される等、今後、地域の魅力的なまちづくりに大きく貢献することが期待

### 他の交通機関

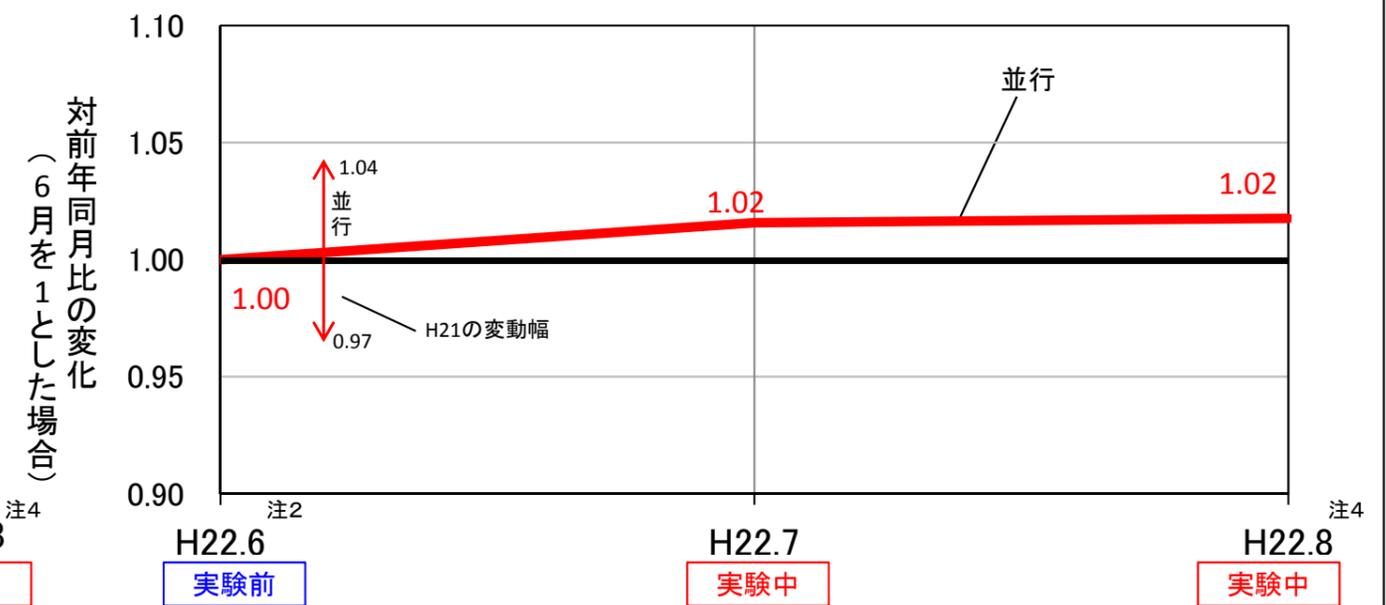
○ 短期のトレンドでは、マクロとして、実験開始前後で大きな変動はみられない

#### 他の交通機関の旅客輸送量の動向(マクロの分析<sup>注1</sup>)

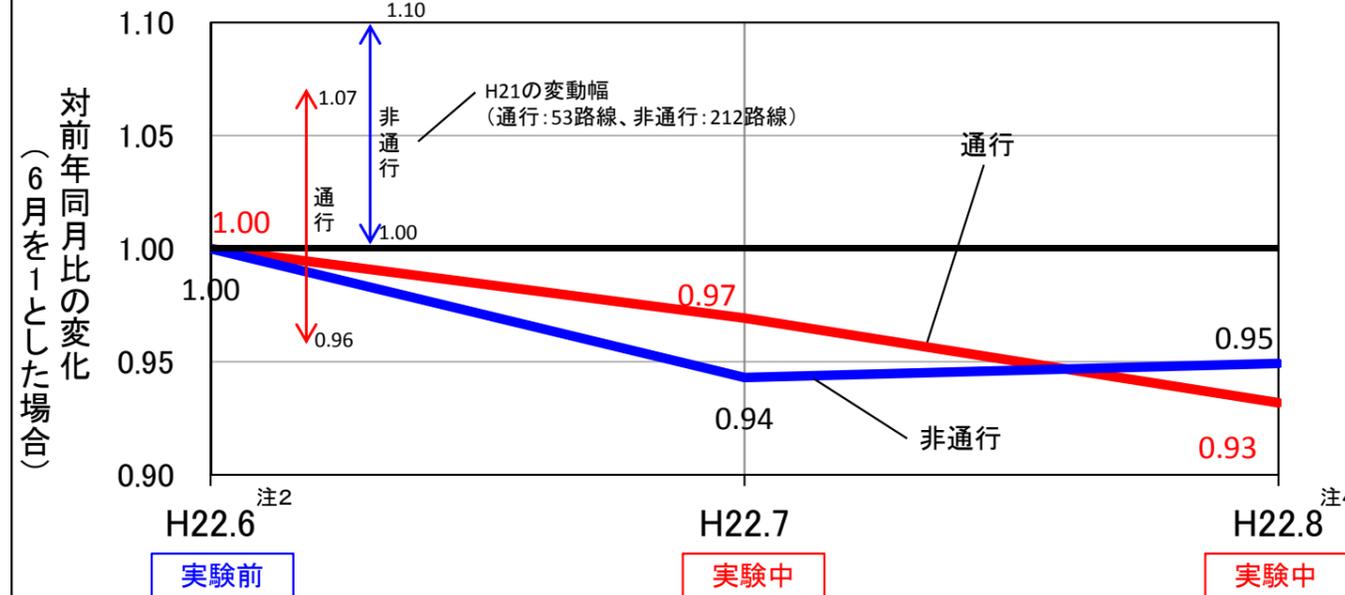
JR(特急) 並行:21断面、非並行45断面



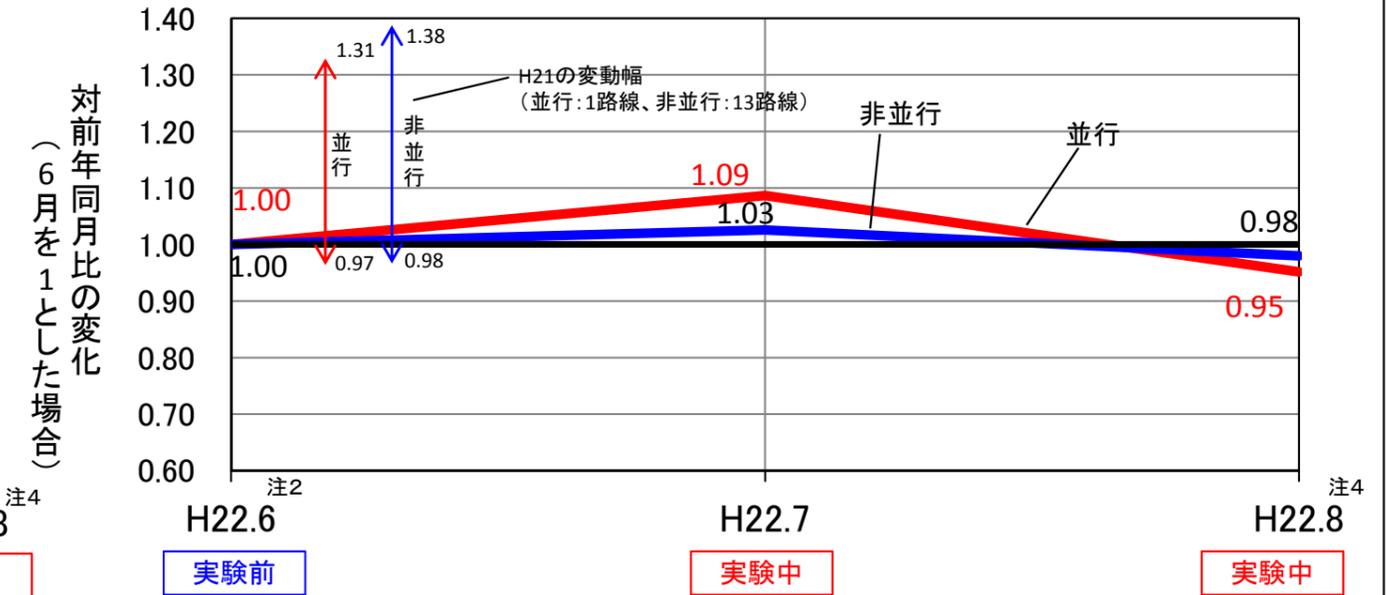
大手民鉄、地域鉄道<sup>注3</sup> 並行:11断面、非並行:データ無し



高速バス 通行:69路線、非通行:295路線



フェリー 並行:4路線、非並行:28路線



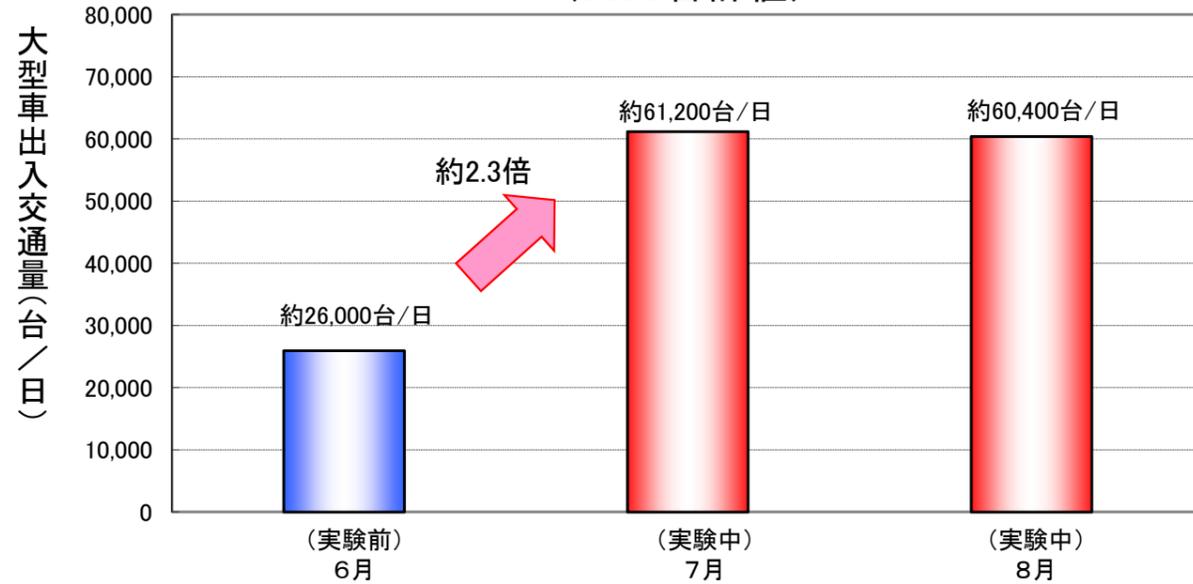
注1 景気動向・天候等の要因は考慮していない  
 注2 6月には、実験開始後3日間(6/28~30)を含む(月単位の集計であるため)  
 注3 地域鉄道は、路線の全輸送人員を計上  
 注4 平成21年は休日上限1,000円割引の適用日を4日間拡大

**➡ 引き続き、中長期的なトレンドを注視していく必要**

### 物流

#### ○ 重要港湾・拠点空港の最寄ICの大型車交通量は約2.3倍に増加

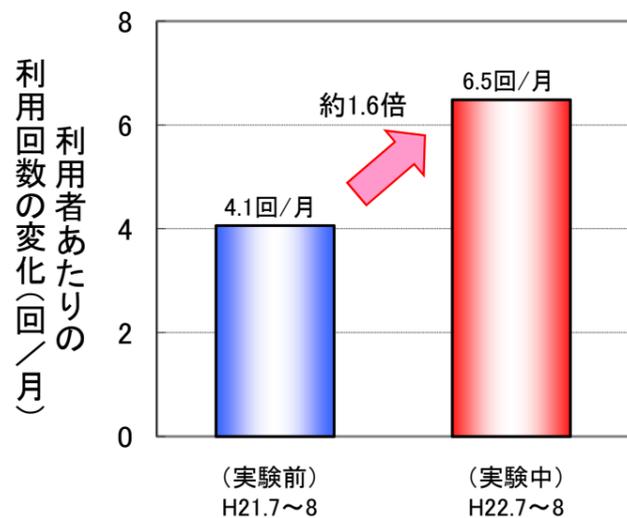
重要港湾・拠点空港の最寄ICにおける大型車出入交通量の変化 (35IC合計値)



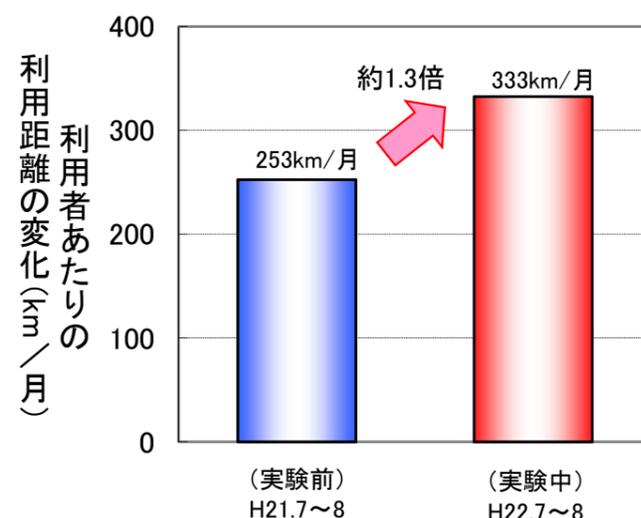
※ 平日のNEXCO営業データ(中型車・大型車・特大車)等を使用  
 ※ 重要港湾・拠点空港の最寄ICが無料化社会実験区間に位置する35ICを対象

#### ○ 実験区間を利用する大型車の利用頻度は約1.6倍に増加、利用距離は約1.3倍に増加

大型車の月間利用回数の変化



大型車の月間利用距離の変化



※ 平日のETCデータ(中型車・大型車・特大車)を使用

### 観光

#### ○ 無料化区間IC周辺や、地域の取組みを行っている施設では、入り込み客数が増加

→ 一方、その他の実験沿線施設では、平日に減少傾向

[前年同期比]

区分	無料化区間ICからの距離		地域の取組み	
	10km圏内 (89施設)	10km圏外 (83施設)	有 (46施設)	無 (126施設)
平日 7/29~8/18 (お盆除く)	約4%増	約9%減	約5%増	約4%減
休日 7/29~8/18 (お盆除く)	約9%増	約1%増	約9%増	約5%増
7月3連休 7/17~7/19	約13%増	約3%増	約18%増	約6%増
お盆 8/13~8/16	約7%増	約2%減	約7%増	約1%増

※ 調査対象施設:無料化社会実験区間から約30km圏内の観光入込客統計の調査対象である観光施設のうち、協力を得られた172施設

#### ○ 実験区間周辺では、実験にあわせ地域の魅力を発信するための様々な取組を実施

実験区間	地域の取組み内容	実施主体
伊勢自動車道 紀勢自動車道 (津~伊勢・紀勢大内山)	南三重地域でスタンプラリーを実施し、抽選で宿泊券などを贈呈	東紀州観光まちづくり公社
	「ラッキーほく(紀北)キャンペーン」として参加店舗で使用できるクーポン付きチラシを作成	紀北町観光協会



#### 【事例】

- ・伊勢・紀勢自動車道周辺では、無料化実験にあわせた取組を実施
- ・紀北町の道の駅紀伊長島マンボウでは、入り込み客数が約1割増加